



言葉で感じる季節

はなび
花冷え

あたたかな日が続く中、一時的に急に寒くなり冷えること。
天気予報では「寒の戻り」とも言われ、桜の花が咲く頃の寒さを言う言葉です。
桜の開花も待ち遠しい季節になりました。気まぐれな春を越え、一気に春めくのだろーと感じます。



お詫び
先月に引き続き、今冬の生育不良により、一時的に販売休止・減産体制へのご協力をお願いをさせていただいております。皆さまにはご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。

ことねぎだより

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

今月のことねぎ

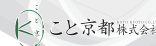
今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

冬葱から移り変わる、春葱のお届け

4月にお届けするのは、主に11月に定植したねぎになります。昨年は、苗が上手く育たず、定植が予定よりも遅れていました。この冬は例年よりも寒く、なかなか思うように育っていませんでしたが、春の季節に合わせて日々の管理にはより慎重に、丁寧に行いました。春のあたたかな日差しを浴びて、長い期間を過ごした畑を離れ、いよいよ収穫の時期を迎えました。春の訪れに喜んでいるような葱たちです、ご賞味ください。



NO.179
2022年4月号
TEL: 075-601-0668



KOTO GROUP
4A



農人たちの畑での作業の様子、THE農業!の現場の「こと」を発信

春到来! 計画的・協力体制の農人たち

色々な草花が咲き始め、仕事をしていて気持ちの良い季節を感じることが出来ます。ただ、農人たちの多くは、花粉症持ちなので、その対策も必要で、目薬などは欠かせません...!

4月からは、各地域で畝立て・定植が本格的に同時並行になるので、作業量が一気に上がります。また、生育不良のため、春先から若葱を早めに収穫していることもあり、それ以降は計画よりも早める必要があるため、いつもよりも前倒しで作業をしています。本来、栽培と収穫は別チームで普段動いているのですが、この時期は皆で作業をすることが多く、10人以上で同じ作業をする事もあります。一気に作業を進めることができるメリットと、チームワークを感じられる機会となっています。



追肥作業の様子。ねぎの様子も気にかけてながら見えています。



とある日の農人日記。

畑を耕し、畝立てをして溝掘りを行いました。苗を作付けをする前の作業ですが、こういう作業の積み重ねによってよりいいねぎになると思うので、土台づくりとして頑張りたいと思いました。(迫)



こと京都市「野菜を食べよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組みます。

